

# 令和元年度第2回大人のためのブックトークを開催しました

令和元年7月27日（土）、第2回目の「大人のためのブックトーク」を開催しました。今回は「すごく難しい本」から、先生が大好きな「あの人」が主人公の本まで、先生のユーモアにくすりと笑いながら、幅広い本をご紹介します。

## 小林 昌廣 IAMAS 教授によるブックトーク

<当日の紹介された本>

### 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」

マックス・ウェーバー／著，大塚 久雄／訳  
岩波書店（1991年）



### 『死』とは何か? : イェール大学で23年連続の人気講義

シェリー・ケーガン／著，柴田 裕之／訳  
文響社（2018年）



### 「小説ブラック・ジャック」

瀬名 秀明／著，手塚 治虫／原作  
誠文堂新光社（2019年）



## 岐阜県図書館 江口 麻依 主事による おすすめ本の紹介

<当日の紹介された本>

### 「さよならドビュッシー」

中山 七里／著 宝島社（2010年）



### 「ドビュッシー最後の一年」

青柳 いづみこ／著 中央公論新社（2018年）

### 「ピアノ調律師」

M. B. ゴフスタイン / 作・絵，末盛 千枝子 / 訳  
すえもりブックス（2005年）



## ○感想等

- ・案内された本は是非読んでみたい。
- ・”古典の誘い”の講座を聴いているのですが、その際の先生の博識ぶりに感銘を受け、是非とも他の話もと思って。
- ・自分では手に取らない本を紹介していただき、面白く聴かせていただきました。私も高校のときチャンピオン買っていましたが、あのころのチャンピオンはよかったですね。
- ・とてもとても楽しかったです。
- ・「さよならドビュッシー」読みます。ちなみに演奏表現がすごいマンガは「**SHIORI EXPERIENCE**」オススメだ。
- ・大変ありがとうございました。
- ・知人のすすめで参加。小林先生のトークに引きつけられました。難しいと思われる内容をいともかたんに易しく解説されるシャープさにびっくりしました。次回も参加希望します！